

ウエステ広場通路用シェルター大改修 申し入れ実現へ!!

鳩の巣となるドーム型通路用シェルターの取り替えで糞害の解消もされる



垂水駅西口のバス停 ウエステ広場 垂水駅への通路用ドーム型シェルターが、**R7年度**に設計、工事の入札がされ、バスの運行しながらの複雑な工事になりますが、**約一年ぐらいの工事期間で改修**されることになります。当時、**R4年12月7日【本会議にて 平野 章三の質問】** 垂水駅前広場など公共の場で大量の鳩の餌やりがあり、糞害がひどく餌やり禁止条例制定の検討を申し入れました

【副市長の答弁】 ハトを含めて動物の餌やり行為に対して、**動物愛護法の25条では指導・助言し、さらには勧告・命令をすることができると規定**しており、パトロールを強化しハトの餌やりされている方へ丁寧に粘り強く指導を重ねていくことで改善を図っていきたい ☆結果、**5年度1,210万円**のふん対策パトロール予算が計上されました！ しかしながら、**通路用ドーム型シェルター**が老朽化により色あせ、見栄えの悪さが目立つ上、屋根のドーム内側は鳩の巣になっており、糞による汚れがひどく、通行人への糞害まで影響しております ◇そこで**シェルターの大改修**を申し入れ、当面の間は鳩よけネットの設置による改善をしてみました ☆その後、急遽**「シェルターを大改修します」**と、**神戸市の大英断**の回答を得たのであります!!



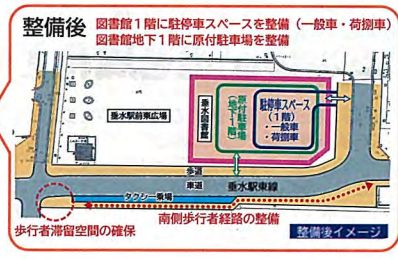
垂水駅西バスターミナル上屋

【平野 章三】が本会議で質問 ◇このたび国費を獲得された上、**バスシェルターを全面改修**すると聞きましたが、着実に進めることができるのか伺います！
【副市長の答弁】 **「バスシェルターの改装」**については建設から**20年以上経過**し塗装の劣化等により美観が損なわれているので、駅西側広場の「リニューアルの一環として行う」予定で、**施工条件を精査した上**、鳩の糞対策にも工夫して取組んでまいります～とのことでした ☆そしてこの度、**R7年度**に設計そして工事が着工されることになりましたので、やっとウエステ広場が様変わりしていきます！

垂水駅東出口レバンテ広場に垂水図書館、地下に原付駐車場新設

JR垂水駅東口北側交差点南東部の信号待ち滞留場所にやっと改善出来る

現在整備中のレバンテ広場に新垂水図書館が**2025年9月中に開館**する予定ですが、同時にJR垂水駅東口交差点の南東部は**滞留空間が…②が狭く**、帰宅時は大混雑の日々が続いております そこで…信号待ちの空間を広げ、交通量の多い歩行者の安全性を確保するとともに、垂水駅東線にある原付駐車場を新しく建設する新垂水図書館の地下1階に移設し、原付駐車場のスペース分を使って道路を北側に移すことで南側にも線路沿いに新たな歩道(幅員2m…①)を整備します。工期は**2024年(令和6年)9月2日～2026年(令和8年)3月31日**の予定で進められております



期限を区切り部活動の社会移行を決断 教育長の英断で大きく動きだす 運営団体の一次募集に600以上応募があり企業・大学にも声がけ始まる

【平野 章三の質問】 部活動の社会移行に、**KOBEKATSU**はいずれ近い将来、部活維持が困難になることを思えば、**2026年9月に移行**する、と期限を**2年**間に区切り仕上げるという教育長の英断は、以前委員会で申し上げた通り、実に素晴らしい政策であります。そのことで、様々な課題に対応しながら進めていく必要に迫られた結果、各関係者が一気に出動き出し、評価できる良い効果も次々展開され始めました一方、多くの課題は当然ありますが、その都度解決していけば良いことであります。**部活動の社会移行への必要性は議員各位もほとんど理解しております**が、中には全体像を見つめることもなく、未だ批判的な意見ばかりを繰り返し前向きな具体的な提案も行わない議員がいることは極めて残念であります

★ところがその反対する議員の所属党派が既に**令和4年度神戸市予算要望**で「部活動の地域移行は神戸市が他都市に先駆けて行い、こどものスポーツ参加の機会確保、拡大に資するシステムを構築すること」と申し入れていたのですよ～ このような議員さん →果たして → 信念を持った政治家か??? → 甚だ疑問に感じるのであります～ ところで、運営団体の募集を始められ**600以上の応募**があるとは伺っていますが、特に大手企業の応募が弱いのではないのでしょうか! そこで、メジャーなスポーツなどの技術や技能向上、大会やコンクールの出場を目指す目的の生徒への対応が大きな課題であると感じております **神戸市**には、メジャースポーツや文化面などのクラブチームを持つ大手企業が多く、社内にはこどもたちの指導に関心を持っている社員もいると聞いておりますので、この際、各大手企業のクラブチームに下部組織を設けていただき、**KOBEKATSU**の活動団体として参画してもらうことを提案したいと考えています。例えば、企業同士が連携すれば、下部組織のチーム間での対抗試合や大会開催も可能になり、部活では体験できなかった高いレベルの活動環境や、将来プロの発掘に繋がる人材育成が期待できます。これは**KOBEKATSU**の魅力となるだけでなく、企業にとっても社会貢献活動として知名度の向上にも繋がり、双方のメリットになると考えますが大手企業への積極的なアプローチについて、**教育長**のご見解をお伺いいたします

【教育長の答弁】 **KOBEKATSU**は、大会への出場や技術・機能の向上を目指す活動から、趣味と一緒に楽しむような活動まで、多様な活動を広げていきたいと考えております。その中で、ご指摘がありましたような高いレベルの活動を求める生徒の受け皿として、市内の大手企業に参画いただくことができれば、さらに生徒の選択肢が拡大するのではないかと考えております。

小中学生のみなさんへ
KOBEKATSU
の体験会に
参加してみませんか?

2025年度(令和7年度)募集
2026年度(令和8年度)募集
2027年度(令和9年度)募集

2025年度(令和7年度)募集
2026年度(令和8年度)募集
2027年度(令和9年度)募集

2025年度(令和7年度)募集
2026年度(令和8年度)募集
2027年度(令和9年度)募集

第1次募集の結果をみると、少数ではありますが、社会貢献活動として、例えば自社のグラウンドを利用する前提で応募いただいているような地元の手企業もありません。サッカーなどでは、レベルの高い民間クラブチーム、既に活動している民間クラブチームですが、そのような活動の中の、いわば下部組織的なクラブとして、低廉な価格で、**KOBEKATSU**に応募いただいている例も出てきております。今後の取り組みなのですが、活動団体の募集は、今までもご答弁申し上げてますようにこれからも複数回に亘って行いたいと考えております。その中で、やはりより専門的な指導が可能なクラブもできるだけ多く参画いただきたいと考えておりますので、ある程度の規模の企業であれば、会社としてサッカーや野球などの社会人チームやクラブを持っていることも多く活動団体の掘り起こしに取組んでいく中で、市内の大手企業への積極的な働きかけについても、検討していきたい、そのように思います

【平野 章三の再質問】 今、**教育長**が積極的に大手企業に働きかけていきたいというお話、これは非常に重要です。ただ、**教育委員会**は大手企業との付き合いがそうあるわけじゃない～今、この**KOBEKATSU**については、**市長**はすごく前向きに動いておられるというのを感じているのですが、ただ**市長**は、**教育委員会**とは全く関係ないという感じで思っておられる**局長**さん方がほとんどだと思うんですね。しかし、この問題は、**経済観光局長**さん、それから**企画調整局長**さんのお二人が、もっと企業に**KOBEKATSU**に協力してもらいたいというようなことがあれば、**教育委員会**がお願いをしたときに受けて頂けないかと思うんですが、その考え方にいづれかの方が答えてくれませんか!

【経済観光局長の答弁】 ご指摘の件、企業にもスポーツをされている方もたくさんおられますので**経済観光局**では、普段から企業との付き合いもあり、そういった形で我々の方でも働きかけしていきたいと思っております

☆ 今後、**予算特別委員会**でも**経済観光局長**は「大企業だけでなく、中小企業などにも声がけしていく」との積極姿勢を示され、力強い支援の答弁でした! ☆さらに、**KOBEKATSU**について【各大学への働きかけを**企画調整局**にも】お願いしたところ、早速動き出してくれました **【平野 章三の意見】** **教育長**からの働きかけに**神戸市の各局**も全面的に協力することにより【多くの企業・大学が**KOBEKATSU**に参加してくれば、生徒の期待に大きく応えられることになるでしょう!!

毎年、医療産業都市機構に多額の投資をしてきたが産業化が見えてこない

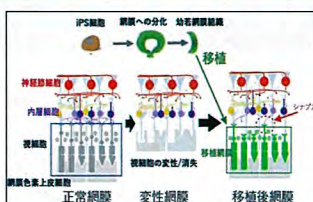
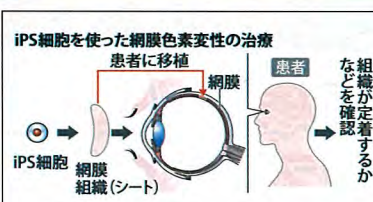
一方、眼科領域では再生医療の実用化が最有力だが何故機構は支援しない



【平野 章三の質問】 元理研のプロジェクトリーダーである高橋政代先生は、眼科領域における再生医療の実用化を目指し、市内でベンチャー企業を立ち上げており、この度再生医療分野で国内トップ企業と資本業務提携を締結し、iPS細胞を用いた網膜変性疾患の治療薬の製造販売承認を目指し、億円単位の規模で支援を受けるとのことです。また、昨年12月からクラウドファンディングを行うなど、独自で資金確保に努力されてきました。iPS細胞を用いた再生医療は世界に通用し得る技術であり、神戸市は最前線で支援すべきであるため、万博でも積極的に情報発信するものと考えておりましたが、市独自の発展はなく、反対に大阪のバビロンの再生医療技術が展示予定であり、そのアドバイザーとして高橋先生が就任している状況には非常に驚きでありました。神戸の医療技術を世界に発信する絶好の機会に、神戸の顔が見えないような消極的な対応を聞くと、神戸の再生医療を産業化させていく姿勢に大いに疑問を感じるのであります。



移植手術の様子
(神戸アイセンター病院 提供)



高橋先生のiPS細胞の研究は、神戸発の革新的技術の実用化、産業化に貢献する最も有力の研究分野の一つであり、いち早く再生医療の研究開発の支援に取り組んできた神戸市のはずだからで、今後はより積極的かつ重点的に産業化に向けたサポートを実施すべきと考えた方がご見解をお伺いします。

【神戸市長の答弁】 高橋政代先生が長年に取り組んでこられたiPS細胞を用いた網膜再生治療は大変意義ある取り組みであり、神戸医療産業都市を代表するプロジェクトだと認識しております。このプロジェクトが、大阪・関西万博で、今【平野 章三先生へのご指摘】があったような形で関わることになったことは、今日ご質問頂き初めて承知をいたしました。大阪・関西万博出展には神戸市として、完全に把握をしているわけではございませんが、今後とも、この大阪・関西万博における様々な神戸のプロジェクトの情報発信については、ご指摘を踏まえ、情報収集も行い更なる取り組みができないか、検討させていただきたいと存じます。高橋先生の取り組みを含め、神戸医療産業都市で展開しているプロジェクトは産業化も含め情報発信が十分ではないことは、反省しなければいけないと考えております。今回のご指摘も踏まえ、今後神戸空港が国際化しますと、神戸医療産業都市が海外で同様に取り組んでいる地域と直接繋がる可能性も出てきますので、情報発信や広報宣伝、さらに連携の強化としっかりと力を入れていきたいと思っております。

【平野 章三の再質問】 高橋先生の眼科領域における再生医療の実用化に向けた支援を申し入れたが、以前副市長は神戸アイセンター病院を建設したことで協力しているとの答弁でした。なので、研究・事業化への支援は実質的にはなく、市の対応

には違和感を感じていました。神戸市では医療産業都市機構の五つの研究チームに長年多額の研究費支援を行ってきているのに、未だ産業化は見えてこないうえ、そこに高橋先生の研究は入っていないのです。

＝これは何故かな？というふうな感じがしたのですが＝

どうも医療産業都市機構の中で再生医療分野との【確執がある】ようです。今、新理事長の成宮先生が産業化に理解を示してくださっているのに、未だ確執があれば、市長も“神戸医療産業都市”を代表するプロジェクトと認識している”とのことから医療産業に組み入れ改善していくべきです。そうすると、いろんな資金支援もできる上、神戸医療産業都市の中の産業化が実現していく可能性が出てくるということになりますが、そのような考え方はありませんか？

【副市長の答弁】 高橋先生の成果は、神戸医療産業都市の革新的な成果であり、できる限りの支援を行って参ります。ご指摘の神戸医療産業都市推進機構の中に高橋先生が入っていないということですが、高橋先生は自分で会社を興して、その中で実用化を目指したいという先生の強い意向の中ですでにされていますが、私も直接お話をしてこれからも支援を続けてまいりたいと考えています。

【平野 章三の質問】 いや、かなり違う!! 確かに言いにくいと思いますが眼科領域での再生医療を機構は認めてないのでしょうか？

ただ、今後、成宮先生が前向きに動いていただく中で、医療産業都市機構の中へ位置付けて頂き、産業化へと進めて頂きたいが如何ですか！

【副市長の答弁】 高橋先生に関する研究はこれからも積極的に最大限の支援をしてまいりたいと考えているところでです。

【平野 章三の意見】 結局、医療産業都市機構が眼科領域での再生医療を認めず実質支援してこなかったことは、そこに確執があったことで、そうせざるを得なかったということでしょう。今後は神戸医療産業都市推進機構において市が重点的に事業化・産業化に向けて、支援する分野を外評価に基づいて支援の内容を見極めるという研究支援スキームを構築していくべきでしょう！

2025年震災30年の節目でありCOMING・KOBЕとして感謝を震災の記憶を風化させずに語り継ぐことを目的とし神戸市も対外的発信を

【平野 章三の質問】 音楽のまち神戸について伺います。阪神・淡路大震災の復興支援に対する被災地からの感謝と震災の記憶を風化させずに語り継ぐことを目的として、神戸市も支援している唯一チャリティー音楽イベントとして COMING KOBЕ が毎年開催され、多くの方が来場し、イベントを通じて集まった募金は各地の被災地に届けられています。そこで、来年は震災30年という節目を迎えるため、来年度の COMING KOBЕ については震災を通じていただいた多くの支援に対し、感謝の気持ちを対外的に大きく発信していくためにも神戸も積極的に関わっていくべきと考えますが、どのように取り組むかと考えているのか、お伺いします。

【副市長の答弁】 COMING KOBЕ につきましては、阪神・淡路大震災の復興支援に対する恩返しとして、震災を風化させず、語り継ぐことを大きな目的とされ、2005年から開催されて、今年で20回目を迎えたところでございます。例年多くのアーティストが集結し、20代を中心に全国から若者が来場する日本最大級の無料のチャリティー音楽フェスティバルでありまして、全国に神戸の名を発信するいい機会となっていると考えているところでございます。会場内に設置されます減災ウィレッジでは、被災地支援や震災について考えるきっかけとなるよう、語り継ぎをするようなステージやブースも出展されてきたところでございます。これまで、会場や規模などを変えながら 様々なやり方で開催されてきたところでございますが、神戸市といたしまして、例えば会場の提供、開催経費の補助など、様々な形で継続的に支援を実施してきたところでございます。COMING KOBЕ 実行委員会からは、震災から30年を迎える来年につきまして、当事業のさらなる盛り上げを目指して出演アーティストの充実を図りたいとお聞きしているところでございます。神戸市といたしまして、震災を通じていただいた多くの支援に対して感謝の気持ちを大きく発信していくため、神戸まつりと連携することで防災啓発の取組や広報面での協力を図ることができると考えておまして、積極的に検討を進めているところでございます。具体的な内容につきましては、COMING KOBЕ や神戸まつりの実行委員会と協議を進めたいと考えているところでございます。いずれにいたしましても、御指摘いただきましたとおり、COMING KOBЕ のみならず、音楽を通して神戸の魅力や震災時の感謝の気持ちの発信に官民連携で積極的に取り組んでいきたいと考えているところでございます。

【平野 章三の質問】 これまでずっと「音楽のまち神戸」ということで実現を提案してきましたが、今、COMING KOBЕ は、Battle de eggや、まちなかパフォーマンスなど、様々な取組で音楽が神戸の魅力として根づき始めているというふうに私は思っています。COMING KOBЕ が台湾・屏東県で行われる台湾祭という9万人が集まるライブと相互出演などの交流を既に始めているのです。そこで、他国の音楽イベントと連携することで神戸の音楽文化を海外に発信しているという状況なのです。例えば、



音楽を通して観光振興などにつなげられるように国際的な視点も持ちながら幅広い視点で施策を検討していきたい



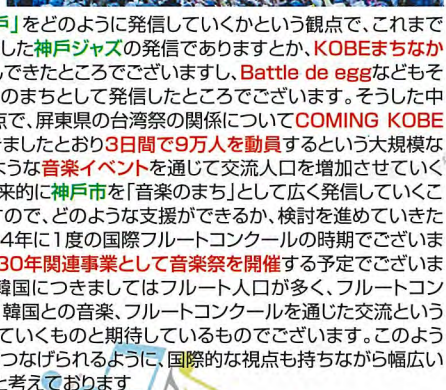
日本と台湾のエアラインの前向きな進め方が総合的に考えていかなければいけない

今後このような取組を神戸市も積極的に継続支援していくことが音楽文化の都市間交流、さらには神戸の魅力発信に必要と考えますが如何でしょうか？

【副市長の答弁】 ご指摘いただきましたとおり、「音楽のまち神戸」をどのように発信していくかという観点で、これまでにも例えば昨年100周年を迎えました神戸ジャズの発信でありますとか、KOBЕ まちなかパフォーマンス事業等に取り組んできたところでございますし、Battle de eggなどもそのような取組の中で神戸が音楽のまちとして発信したところでございます。そうした中で、国際的な交流・発信という観点で、屏東県の台湾祭の関係についてCOMING KOBЕ との交流ですが、ご紹介いただきましたとおり3日間9万人を動員するという大規模なイベントでございますのでこのような音楽イベントを通じて交流人口を増加させていくことは経済効果だけでなく、将来的に神戸市を「音楽のまち」として広く発信していくことにもつながると考えておりますので、どのような支援ができるか、検討を進めていきたいと考えております。また、来年、4年に1度の国際フルートコンクールの時期でございますのでこの開催に合わせて震災30年関連事業として音楽祭を開催する予定でございますが、チャーター便が就航する韓国につきましてはフルート人口が多く、フルートコンクールの応募者も多いことから、韓国との音楽、フルートコンクールを通じた交流という分についても誘客にもつながっていくものと期待しているものでございます。このように、音楽を通して観光振興などにつなげられるように、国際的な視点も持ちながら幅広い視点で施策を検討していきたいと考えております。

【平野 章三の質問】 今、COMING KOBЕ が9万人の台湾祭との交流をやっているという現実！このことで日本と台湾のエアラインの前向きな進め方とか、総合的に考えていく必要があると思うのです。これ、今、継続したいということと申すので、これを機会にいろんな経済やリゾートとしての観光などを含めて継続的な支援をしていこうという考え方はありますか？

【副市長の答弁】 COMING KOBЕ を継続的に支援していくという分につきましては当然必要だと考えており、その中で、COMING KOBЕ が屏東県、台湾祭との交流も継続しているところでございますので、間接的にも含めて継続的にサポートになっていくと考えております！



介護事業取組み熱意の無さが本会議質疑で驚く程前向きへと!

【平野 章三から介護事業運営の問題点を指摘】 企画調整局の介護事業担当部署は事業内容の把握もせず、取り組む意欲すらない中、当然**産業化推進には期待すらできないのが現状**なのです。一方、**経済観光局**では、今年度介護ロボットを活用した介護現場での省力化に向けた**研究開発の産業化に補助事業として採択**したのであります。そこで介護事業を強力に推進し、今後介護産業として成長させるため、**企画調整局から経済観光局へ介護事業の移管**をすべきと強く申し入れました。しかし

【副市長答弁】は 〓〓〓地元の中小企業等が広く参画でき、**成長基盤が確立できる段階**になってから考えていく 〓〓〓と〜介護事業を把握されていないあまりにも情けない答弁をされたのであります。そこで**企画調整局医療担当局長**に「介護事業から一切手を引いてくれ!」と強烈に申し上げた結果、実直なお詫びと今後は**局長自身が誠実に取り組んで参ります**との説明がなされ、当面**局長に介護事業を任せ**せる事になりました。ただ、未だ**副市長**が理解されていないため、**12月本会議**で再質問しました

【平野 章三の質問】 **2025年10月3日・4日**、神戸国際会議場にて日本ノーリフト協会主催による「ノーリフトケア国際シンポジウム」が開催、川崎重工業株式会社をはじめ、多くの企業や介護関連施設、そして加藤勝信・前財務大臣などの国会議員、厚生労働省や経済産業省の幹部職員などの行政関係者が参加され**介護産業の促進**に向け、積極的な事業展開を直に感じました。そして、シンポジウムにあわせ開催された記念式典には、**今西副市長**も出席されてお

り、介護産業の盛り上がりは直に感じられたはずですが、未だ成長基盤の確立に向けての段階であり、重点的に取り組む段階には至らないと考えているのか??? 伺います!

【副市長の答弁】 総括質疑の御答弁につきましては、企画調整局が所管する介護事業を経済観光局に移管するとの前提のもと、地元企業の参画など広く図られたタイミングが適当との考えを述べたもので、神戸に本社を置いております。川崎重工を始めとして、様々な企業が参画している介護産業が成長途上の段階にとどまっていると考えていますので、ご理解頂きたいと思ひます! との、やっとまともな答弁がされ、理解とともに安心しました

【さらに平野 章三の質問】 この際、介護産業として**企画調整局**とともに**経済観光局**とも連携されてよいのではと〜申し入れました!

【副市長の答弁】 〓〓〓 御理解をいただきましてありがとうございます 〓〓〓 介護の促進には機器メー

カー、そして介護事業者といった様々なプレーヤーとの調整が必要不可欠であり、企画調整局が中心となり、経済観光局との**連携を緊密に図ることが事業の推進にとっては重要**だと思っており、効果・効率的な施策に努力してまいりたいと思ひます!

【平野 章三の意見】 この度は上から目線という役所体質に問題があり、本会議で政策的に厳しく追及し闘った事で、やっと**当局**が目覚めたのではと ホットしてます!!



ノーリフトケアとは
介護する側、される側、双方において安全で安心な
持ち上げない・抱え上げない・ひきずらないケア



図書館『返却ポスト』がやっと**山陽電鉄舞子公園駅**に再設置されました!

【平野 章三の質問】 図書館の返却ポストについて以前、舞子公園駅に返却ポストがあったのですが、その後突然なくなり垂水駅に返却ポストが設置されました。しかし垂水には図書館があるのに舞子の返却ポストをなくしたのは何故か

【中央図書館長の答弁】 対外的に説明できるよう、**データに基づいて検討**を進めてますのでしばらくお時間いただきたい【方針変更】データに基づき検討した結果、舞子駅周辺は人口も多く、駅の利用客も多い上、図書館施設が周辺にないことから年内を目処に舞子公園駅に**返却ポスト**を移設との答弁
その後「返却ポスト」がやっと再設置され実現しました!
山陽電鉄舞子公園駅に**2025年11月19日**図書館の「返却ポスト」が再設置!

神戸市立博物館

これは既存の価値ある建物なんですね!



【平野 章三の質問】 美術館が博物館かの仕分けはわかりませんが、以前にジブリで、**28万人**来られ**3000万円**ほどの黒字だったんですね。赤字の年もありますが、今度ゴッホ展のチケットは**2500円**って聞いたのですが、例えば**20万人**来られたら**5億円**なんですよ。ゴッホ展開催費用で**4億円**程かかるという話ですが、**ランニング費用を入れても黒字**になるんですよこれ、**50万人**来たら大きく儲かるんです。なので、博物館の運営方法を考えた方がいいと思うんですよ! **神戸**の街づくりとして、この博物館はおもむきのある素晴らしい建物であり旧居留地の非常によい場所にあります。そこで例えば、海外へ行くとその時々展示内容に関わらず、必ずツアーに美術館とか博物館が組み込まれ、年中魅力ある一流の芸術作品の展示に感動させられるのであります。雰囲気の良い神戸市立博物館もそういう位置づけにし、国内外からも、**神戸**に行ったらツアーとして博物館にも立ち寄れるよう、年中充実した展示内容の打ち出し方を行なったら、

さらに**神戸**の活性化に繋がると思いますが如何でしょうか! 収支も別にトントンでも新神戸文化ホールの大莫大予算措置を考えると、神戸市立博物館という**既存施設に最高レベルの展示内容を常時置くことを継続**していけば、**収益性でも問題ない**と思ひますので、少しつぎ進んでもよいと思ひますが、如何でしょうか!

【副館長の答弁】 今、**委員**からご指摘いただいたこの収益性という観点も非常に大切なことだと思ひますし、そのためにはこの**ゴッホ展**のような集客性の高い展示をいかに呼び込むか! とも思ひてございます。企画名も含め、この共催するメディアとともに関係性を強化し、この種の展示を関西エリアの神戸に誘致ということが非常に重要なことなので、更に取り組んでいきたいと思ひます。もう一つですね、魅力作りということと、あと旅行との連携とかいう観点なのですが、これまだ始まったばかりですが、例えば今のこの**8月**から京都と滋賀、神戸の**4つ**の博物館・美術館が関西経済連合会と**ナイトタイムミュージアム関西**という形での取り組みを始めたところで、JRも広報協力を今回いただいています。まだ始めたところですが、質問頂いた「この神戸に来たら、この博物館に」というところを目指し取り組み内容を充実していきたいと考えてございます

【平野 章三の意見】 この神戸市立博物館を時間かけてでも**国内外に魅力発信**出来ていくことで、この既存施設が新たな**神戸**の魅力となりますように期待致します!



市政報告 神戸市議員 平野 章三

神戸市市政報告 第23号
発行日: 令和8年2月2日
発行所: 神戸市会無所属 平野 章三
神戸市中央区加納町6丁目5-1
電話 (078) 22-6755

兵庫県は**フリースクール**に対して 神戸市だけ**補助対象外**としたのです!?



何故 県の分まで
出さなければいけないのか?

【平野 章三の決算本会議質問】 兵庫県は県・市協調と言いつつ、フリースクールに通う**神戸市**の児童・生徒の家庭だけ、県は補助対象外としたのであります。一方で近隣市は兵庫県から半額の支援を受け、既に**補助金制度を開始**しており、保護者の方々より感謝や安堵の声が兵庫フリースクール等連絡協議会にも届けられております。このことは都市間で**不登校家庭への経済支援格差**が生じており、神戸市民に不公平な負担を強いる行為であります。神戸市として今後どのような対応で進めていくのか、考え方を伺ひ致します

【教育長の答弁】 フリースクールは、学校以外の多様な教育機会の場として非常に重要な役割を果たしていると認識しております。御指摘のとおり、近隣市では県の政策でフリースクールへの**補助制度を開始**されており、居住地によって

経済的支援に違いが生じていることも認識しておりますので、効果的な支援策を検討してまいりたいと思ひます

【平野 章三の質問】 効果的な支援策とのことですが、県はすでに**神戸市**以外に半額補助しており市の**財政当局**が予算を認めるかどうかは別としても、**県負担分も含めた支援の判断は非常に大きな問題**となりますので、市としての考え方を伺ひしたいと思ひますが!

【副市長の答弁】 フリースクールへの補助は、施策として神戸市が支援を行うかどうかであり県の補助よりも、**施策の位置づけが重要**と思ひています

【平野 章三の質問】 施策の位置づけということとは、県と関係なく、もしも補助するとしても神戸市単独でも構わないということなんでしょうか?

【市長の答弁】 これは神戸市としてフリースクールに対し、どう支援するかであり、県の補助にかかわらず、神戸市の**主体的判断**と考えております

【平野 章三の意見】 市の主体的判断と市長・副市長の答弁を伺ひし、**教育委員会**の要求に対し市長部局としては**財政当局**が判断をするとのことでしたが、この質疑応答で**予算措置実現にかなり前向き**な感触を得ることが出来ました!!

こども食堂と学習支援は内容が全く違うのに同じ予算と基準に違和感が?



【平野 章三の質問】 以前、学童保育でこども達を預かるだけでなく、学習支援もお願いし**教育委員会事務局**にも児童・生徒の**学力向上**につながると、支援を求めてきた結果、**こども家庭局**での学童保育に学習支援を取り入れたことは非常に評価しております。しかし、**こども家庭局**の「こどもの居場所を把握して」

所づくり事業」ではこども食堂と、学習支援事業が**一括りの補助対象で補助金額も全く同じルール**で行なっています。つまり食事支援と学習支援を同じ居場所づくりとして評価しているため例えば、支援内容がまったく違っているのに地域的に重複しているなどの理由で支援の申し込みすら受け付けなかったり、単純に地域の平等性を保つためバランスよくただ振り分けただけで、**実態は必要とされるところに行き渡らない現象**がおきています。今の在り方はどうなのでしょう?

【こども家庭局副局長の答弁】 こども食堂の子どもの食事支援と学習支援を一括りということではなく例えば、食事支援の実施団体が地域に学習支援の申請があった場合、**学習支援の頻度が少なければ、採択するように審査**を行っており、実施内容については社会福祉協議会が適切に運営ができていけるかを把握して

【平野 章三の質問】 まずこども食堂ですが、食事をするだけでなく内容をもう少し**評価出来る具体策が必要**と思ひますが… 例えば、舞子のあるホテルは居場所づくりとして食べて終わるということだけでなく、いろんな体験をしてもらうなど充実した内容があります。一方、学習支援のある団体では、微妙に落ちこぼれになるところをすくい上げていくという具体的な成果に直結しており、各校の校長

さんから放課後学習の支援依頼の声が次々上がってくるのです。現在は**15か所**で学習支援を行なっていますが、**補助は4か所**しか対象にされていません。運営はオープンで内容は充実しており高い評価も受けているのに、窓口で申請すら受け付けず、門前払いのような状況であることを**こども家庭局**は把握されているのか、審査体制に問題はありませんか?

【こども家庭局副局長の答弁】 情報は社会福祉協議会から頂いていますが、もし希望があれば申請の時期に出していただければ、**申請、審査**は神戸市の職員が補助する団体から受けますので!

【平野 章三の質問】 今まで申請段階で社会福祉協議会が判断していると思ひましたので。それなら申請を直接、**神戸市の職員さん**が受けて頂くようお願いします

【平野 章三の意見】 この度の質疑応答により、実態は**申請を出す前から門前払い**であったのが、申請・審査を出す段階から**市の職員さん**が受けてくれるとのことと評価が出来ます!

【平野 章三の質問後に】 **こども家庭局**の幹部の方々が、学校での放課後学習の状況を視察され、やっと**実態を把握**されたようです。その内容は放課後にこども達が喜んで教室に集まる姿、ボランティアの多くの皆さんがマンツーマンでサポートする雰囲気、学校の担当教師も学習成果に満足されている様子など漏れ聞こえてきましたので、少しでも良い評価に繋がればと期待したいと思ひています!!



＝ 垂水駅西口から五色山・霞ヶ丘方面への急坂歩道の手すり改善 ＝

五色塚古墳への案内板が設置されている歩道は傾斜が急な坂道なのに設置されている**ガードレールが低くて手すりにはならない**との相談がありました。ただ、現ガードレールの取り替えには費用対効果面で難しいと判断した上で**建設局**と相談したのですが、結果は上部かさ上げ手法で手すりとして利用できることになりました(**いちばん上に手すり用ボールを一本設置**)この手法が出来たことは「**建設局の粋な図らい**」でありました!



新教育長により教育委員会事務局は古い体質から脱却出来ると期待！

【平野 章三の質問】 教員が授業に専念できる環境づくりについて伺います。**本市**では**令和8年9月**のコベカツへの本格移行により教員の授業改善に取り組む時間の確保に繋がることから大きな期待をしています。一方、教員の授業改善にはコベカツ移行だけでなく、業務でまだまだ改善の余地があったり、教員が担う必要のない業務も多くあります。例えば大きな課題として、毎年**600から700人**ほど発生する**休職者の代替確保の負担を軽減**することが非常に重要であることから、教員OBを**事務局**の事務仕事から休職者対応に協力してもらえないか伺います。さらに、**決算特別委員会**の審査では、教員の本来とは言えないカーテンの洗濯やエアコンの清掃、床のワックスかけなどが多々あり、未だに**教員が実施している現状**を指摘したが、**教育委員会**からは「外部発注も含め学校運営上の必要な経費は学校運営費として配分しており、学校の裁量で優先順位を付けている」と、**他人事のような答弁**が返ってきました。しかしこの課題を改善する為には、教員がやらなくてもよい仕事をピックアップし、学校任せにせず**教育委員会事務局**が【責任を持って外部委託の予算を直接**財政部**に**予算要望**すべきであります。そのためには、現学校運営費の配分見直しと必要な追加予算確保により、**事務局**が委託すべき業務の優先順位を判断し、段階的に委託を進めていくような工夫をすべきと思うが、見解を伺いたい！

【教育長の答弁】 教員が授業に専念できる環境作りについては、管理職以外は定年延長もあり、**60歳以降**でも学校現場で今活躍いただいております。そして近年では、元管理職、元校長先生等の教員についても、**学校への配置を順次拡大**して授業を行うなど、学校の運営支援や経験の浅い教員用シート指導の育成などの役割を担ってもらってます。その総数は**令和**



ロープウェー・ゴンドラで上空から神戸の街並みや夜景が楽しめる提案を

【平野章三の質問】 神戸空港島の土地利用には、予てより**MRO**をはじめとし航空機関連産業の誘致と国際プライベートジェットの受入を**推進**すべきと提案してきましたがウォーターフロントの将来像については、新たな魅力・賑わいが生まれており、今後さらなる民間投資を誘発するなど市としての戦略や方針を明確に打ち出す必要があります。同時に**都心三宮再整備との相乗効果を図るためには港湾エリアへのアクセス強化が不可欠**ですが、アクセス改善策としての税関前歩道橋の架け替え事業は、難工事を理由に事業者が撤退し、事業の進捗が見られず抜本的な対応が必要となりました。一方で**市長**は、新神戸と摩耶山を繋ぐロープウェーの構想を打ち出されており、**六甲山系の活性化には重要なプロジェクト**と思われすが、都心と港湾エリアを結ぶ整備をより優先すべきと考えた時、海外での運行距離の長い都市型ロープウェーの整備事例を参考に、**神戸の街並みを楽しみながら移動できる都心と港湾エリアを結ぶロープウェーの整備**を提案したいのですが、如何でしょう

【市長の答弁】 都心からウォーターフロントを始め神戸空港などの港湾エリアへのアクセス強化は、これらを進める**再整備の効果を最大限に発揮する上で極めて重要**と捉えております。ウォーターフロントへは歩行者動線の強化と環境にやさしい公共交通として具体的には**LRTの導入を推進**することとしております。**議員**から都心と港湾エリアを結ぶ都市型ロープウェー整備の可能性のご提案を頂き、乗り物自体が観光的要素を持ち、一元的な運行管理による自動運転モビリティであり必要なインフラ施設が比較的小規模であるという特性があります。現在福島にて、試験路の実証が行われている他、成田空港でも導入が検討されるなど、注目を集める交通インフラとなっており、これらの開発状況や地域における検討状況を注視をして参りたいと存じます



3年度は25名でしたが、**令和7年度は70名**と大幅に増加しており、**60歳以上**の教員の力を積極的に活用したいと考えてます
次に学校でのカーテンの洗濯、教室の油引きやプールの清掃等の特殊な清掃業務の現状は、まだまだ教員が担っており多く負担となっており、**教員確保の観点や職場の環境改善としても喫緊の課題と認識**しております。やはり教育委員会事務局が「責任を持って外部発注すること」が重要だと考えており、それら業務の外部委託に優先順位をつけ段階的に委託を進めていけるよう、必要な予算確保や学校運営の配分見直しなど効果的な執行方法に努め、教員の負担軽減に取り組みたいと思っております
【平野 章三の意見】 9月18日教育委員会決算市会において、**毎年600から700人**ほど発生する休職者の代替確保の負担軽減は重要な課題であり、ある教員は「時には休職者をサポートするため通常の**1.5倍の仕事量**が続くことがあり、あまりにも負担が大きすぎる」と嘆いていました。**教育長**は「元管理職、元校長先生等を学校へ順次配置を拡大し、**令和3年度25名から令和7年度は70名に増加**しております」と答弁されたが… 全く少なすぎる ???
特に**現教育長**就任以前は**教育委員会事務局**は学校現場に寄り添うような姿勢は見られず、事務局の古い体質によって【教員のOBを単純な事務作業】などに留め置き、その能力の活用もさせず、現場での厳しい教育環境も放置してきたのであります。さらに、教員が担う必要がない業務も学校運営費を各学校の裁量で優先順位をつけさせ、業務内容も精査してこなかったのです。もし**事務局**が真剣に取り組む意思があれば、以前から平野が提案してきた**現学校運営費の配分見直しとともに必要な追加の予算確保**により、**事務局**は教員がやらなくてもよい仕事をピックアップし、直接委託することで簡単に解決できたはずなのに、如何に**事務局**が怠慢であったか、ということです。ただこの度の**新教育長さん**は教育現場出身であり、旧体質を積極的に打破し改革しようとする真剣さと強さを感じたので… 今後は期待したい。いや期待出来るでしょう !!

【平野 章三の意見と要望】 ★ 答弁にでました**「LRT」**は現在、具体的な計画はなく、現実的には車道幅員を減らして路面電車の軌道を確保するのは難しいのでは！そして新線を建設し新規に**LRT**を導入したところは今のところないようです。〔**「LRT」**とは「新型路面電車」といわれ、路面を主に走行し速度が早く低床車両を使い快適性に富んでいるのが特徴とのことです〕そこでさらに
【平野 章三から市長に要望】 **令和6年2月**六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会でハーブ園山頂から摩耶山へ接続ルートとして、距離約2.5キロほどをロープウェー活用として当時の概算建設費**90億**と記載されていまして。私はこれを批判するわけではなく、ただ費用対効果面から考えると都市部でのロープウェーも導入すれば**採算面でもすごくいい**と思えますので一度、真剣に検討して頂きたい。これが短時間でしかも公共の道路を活用していけるということで、少し山間部とは違う面がありますので、これも取り組むことを協議してもらえないかなと思いますか如何でしょうか！
【市長の答弁】 都心からウォーターフロント、それから特にポートアイランド・空港島へのアクセスについては、今は短期的観点から対応しますが、中長期にはまだ具体的な方向性が定まってませんから【**議員**のご指摘も踏まえながら】アクセスについては**色々な角度から検討させて頂きたい**と思います！
【平野章三の意見】 ロープウェー・ゴンドラは**神戸の街並み**を楽しみながら観光と仕事の両面での移動手段となり、特に市街地からウォーターフロントなど上空からの夜景は感動することでしょう。度々本会議、委員会でロープウェー・ゴンドラを取り上げていますが、**実現に期待**したいと思います



【平野 章三の質問】 ウォーターフロントエリアのメリケンパーク周辺等活性化について伺います。**港湾局**の事業に**経済観光局**との**連携は必要**と本会議質問し…**市長**は「連携することは大事である」と言われた！そこで先日、**経済観光局**はどのような連携を考えているのか何うと「ウォーターフロントが大きく変わるこのタイミングでどう神戸の盛り上げをつなげ【人を呼び込むこと】そこがミッションだと思ってます」とのことで、呼び込むことをすごく意識していました。それは理解しますが、**港湾局長**は**活性化あるまちづくり**として、どのように取り組むつもりでしょうか
【港湾局長の答弁】 まず、再整備を進めているウォーターフロントエリアの公共インフラは、港湾局が所管しておりますが、戦略的な魅力あるウォーターフロントのまちづくりには、経済観光局が持つ国内外の優れた経済・ビジネス・観光などのネットワークと、都市局が持つまちづくりやモビリティのノウハウや制度の活用により、**積極的な企業誘致や投資につながる**と考えています。文化スポーツ局が持つスポーツビジネスや文化芸術人材ネットワークの活用により一層魅力的なイベントの導入やナイトタイムエコノミーの推進にもつながり、各局一丸となった**あらゆる取組を進めることが重要**と考えてます

【神戸市長の答弁】 六甲山は、近年では光ケーブルの敷設、水道料金の引下げ、**規制の見直しなどの環境整備**、また遊休施設などの利活用によるにぎわいの創出やオフィスの誘致など、**19件の施設整備**が行われた

メリケンパーク周辺等活性化に各局と具体的な方向性を示すべきと思うが

【平野 章三の質問】 ウォーターフロントエリアのメリケンパーク周辺等活性化について伺います。**港湾局**の事業に**経済観光局**との**連携は必要**と本会議質問し…**市長**は「連携することは大事である」と言われた！そこで先日、**経済観光局**はどのような連携を考えているのか何うと「ウォーターフロントが大きく変わるこのタイミングでどう神戸の盛り上げをつなげ【人を呼び込むこと】そこがミッションだと思ってます」とのことで、呼び込むことをすごく意識していました。それは理解しますが、**港湾局長**は**活性化あるまちづくり**として、どのように取り組むつもりでしょうか
【港湾局長の答弁】 まず、再整備を進めているウォーターフロントエリアの公共インフラは、港湾局が所管しておりますが、戦略的な魅力あるウォーターフロントのまちづくりには、経済観光局が持つ国内外の優れた経済・ビジネス・観光などのネットワークと、都市局が持つまちづくりやモビリティのノウハウや制度の活用により、**積極的な企業誘致や投資につながる**と考えています。文化スポーツ局が持つスポーツビジネスや文化芸術人材ネットワークの活用により一層魅力的なイベントの導入やナイトタイムエコノミーの推進にもつながり、各局一丸となった**あらゆる取組を進めることが重要**と考えてます



神戸市は三宮周辺やウォーターフロントなど活性化を六甲山上にも波及を

【平野 章三の質問】 **神戸市**ではこれまで六甲山上の活性化策として誘客の起爆剤となる大きな仕掛けの構想にはまだ至っていません。一方で、民間事業者主体の取組には**日本最大級のアスレチックパークであるGREENIA**が開業しています。さらに先日、六甲アイランドにて**久元市長**も出席された英国の名門校を本校とするノース・ロンドン・カレッジイート・スクール神戸が開校されたが、同校は**2028年**には六甲山上に校舎を新設し、移転する計画であり、富裕層も多く通う同校関係者が六甲山の魅力に出会う好機にもなると期待できます。その上、この事業者は六甲山サイレンスリゾートの敷地内において今後、六甲山観光の起爆剤として期待される、円盤状のラグジュアリーホテルサイエンス・リングの開業も予定しています。ただこの事業の社長は、現在**神戸市**との連携もなく、六甲山上での**神戸市戦略**などが分からないので、**神戸市の政策方針**などの御相談がありました。そこで、富裕層やインバウンドを含めた観光客を確実に取り込むため、六甲山の魅力を訴求するとともに、都心からの快適なアクセス、滞在体験を提供するため、起爆剤となり得る民間事業者を**神戸市**が生かし、**官民連携**を強化していく戦略を持つべきと思いますが如何でしょうか
【神戸市長の答弁】 六甲山は、近年では光ケーブルの敷設、水道料金の引下げ、**規制の見直しなどの環境整備**、また遊休施設などの利活用によるにぎわいの創出やオフィスの誘致など、**19件の施設整備**が行われた



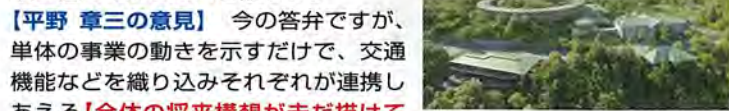
【平野 章三の質問】 ウォーターフロントエリアのメリケンパーク周辺等活性化について伺います。**港湾局**の事業に**経済観光局**との**連携は必要**と本会議質問し…**市長**は「連携することは大事である」と言われた！そこで先日、**経済観光局**はどのような連携を考えているのか何うと「ウォーターフロントが大きく変わるこのタイミングでどう神戸の盛り上げをつなげ【人を呼び込むこと】そこがミッションだと思ってます」とのことで、呼び込むことをすごく意識していました。それは理解しますが、**港湾局長**は**活性化あるまちづくり**として、どのように取り組むつもりでしょうか
【港湾局長の答弁】 まず、再整備を進めているウォーターフロントエリアの公共インフラは、港湾局が所管しておりますが、戦略的な魅力あるウォーターフロントのまちづくりには、経済観光局が持つ国内外の優れた経済・ビジネス・観光などのネットワークと、都市局が持つまちづくりやモビリティのノウハウや制度の活用により、**積極的な企業誘致や投資につながる**と考えています。文化スポーツ局が持つスポーツビジネスや文化芸術人材ネットワークの活用により一層魅力的なイベントの導入やナイトタイムエコノミーの推進にもつながり、各局一丸となった**あらゆる取組を進めることが重要**と考えてます

【平野 章三の質問】 まず、今まで**各局**それぞれが事業運営してきたが、本会議・委員会などで、局間協力により連携して事業を進めるべきと提案してきましたが、現実的に見事な**連携で動きだしてきたことは、活気的なこと**であります！そして、**局長**答弁も分かりますが、もっと具体的な柱が必要です。例えば、アリーナがあり、ラ・スイードという高級ホテル、そして今後世界からスーパーヨットが集まる、**日本最大級のラグジュアリー大型艇専用マリナ**ができ、プライベートジェットの誘致など**神戸**に新たな拠点が出来きます。さらにヘリコプターなどで簡単に六甲山にも上がれ、そこには民間が非常にレベルの高いホテルを建設し、さらに国際学校も開設していきます。そこに1つ言われるのは、海外からの富裕層は長期滞在のホテルが欲しいと言っており、**2週間・1か月の滞在拠点**を求めています。そこで、まちづくりの対象をどんな形にするか、少しレベルの高い“街”を求めてもよいのではないのでしょうか！そのためにはまだまだ余地があるのどうしていくか！このように今後具体的にどのような方向性を打ち出していくのか伺います
【港湾局長の答弁】 委員仰る通りだと思います。プライベートジェットであったり、スーパーヨットの誘致など全てが有機的につながらないと、まちづくりが進んでいきません。その上で、今からのまちづくりは、短時間で便利に人が移動でき、**拠点毎に経済活動が起きるような取組が重要**ではないかと思えます
【平野 章三の意見】 私は他都市とは違ったイメージとして**総合的にレベルの高い“まち”**にしてほしいと思いますので、一度検討して頂きたいと思えます

【平野 章三の質問】 ウォーターフロントエリアのメリケンパーク周辺等活性化について伺います。**港湾局**の事業に**経済観光局**との**連携は必要**と本会議質問し…**市長**は「連携することは大事である」と言われた！そこで先日、**経済観光局**はどのような連携を考えているのか何うと「ウォーターフロントが大きく変わるこのタイミングでどう神戸の盛り上げをつなげ【人を呼び込むこと】そこがミッションだと思ってます」とのことで、呼び込むことをすごく意識していました。それは理解しますが、**港湾局長**は**活性化あるまちづくり**として、どのように取り組むつもりでしょうか
【港湾局長の答弁】 まず、再整備を進めているウォーターフロントエリアの公共インフラは、港湾局が所管しておりますが、戦略的な魅力あるウォーターフロントのまちづくりには、経済観光局が持つ国内外の優れた経済・ビジネス・観光などのネットワークと、都市局が持つまちづくりやモビリティのノウハウや制度の活用により、**積極的な企業誘致や投資につながる**と考えています。文化スポーツ局が持つスポーツビジネスや文化芸術人材ネットワークの活用により一層魅力的なイベントの導入やナイトタイムエコノミーの推進にもつながり、各局一丸となった**あらゆる取組を進めることが重要**と考えてます



ところで。このような取組が功を奏したという面もあるかと思えますが、民間事業者による宿泊施設、インターナショナルスクールの建設など、新たな投資の動きが出てきております。お話の六甲サイレンスリゾートやインターナショナルスクールの**整備**には民間事業者と緊密に連携しサポートをしっかりと行っていきたいと考えてます。新たなアクセス手段の検討は、これは摩耶山へのアクセスですが**新神戸駅から布引ハーブ園を経由して掏星台まで結ぶ新たなロープウェーの整備の可能性も検討**しており、六甲山観光にもいい影響があると存じます。引き続き六甲山上への民間プロジェクトやアクセス面のプロモーションなど重層的な取組を強化し、六甲山の活性化に取り組んでいきたいと存じます
【平野 章三の意見】 今の答弁ですが、単体の事業の動きを示すだけで、交通機能などを織り込みそれぞれが連携しあえる【**全体の将来構想が未だ描けていない**】ので、もっと**神戸市**は一体となった計画を示すことが、企業等より参入しやすく**計画的な事業展開**も出来るようになると思います。何故なら、例えば**2028年**には六甲山上に移転する予定のノース・ロンドン・カレッジイート・スクール神戸と六甲山上に予定している円盤状のラグジュアリーホテルサイエンス・リングの開業を進める民間企業からは、**神戸市**として**六甲山上の将来構想**がどのように考えているのか見えてこないと言われてます。ただ、**神戸市**も六甲山上の活性化を強く打ち出していますが、厳しい規制や市街地との連携など課題が多く、まとめきれないのかも知れませんか？現在でもヘリコプター遊覧飛行があったぐらいですから、市街地から**六甲山上までのアクセスとして十分検討**出来るはずであり、本来色々な構想を描けるはずですが、いまだに構想が描けないのはお役所仕事から抜け出せないのかもしれない？



★ フリースクール 兵庫県補助上限5千円＝神戸市対象外に ★ 神戸市補助上限2万円＝神戸市単独施策で！



経済支援実現！

兵庫県は県・市協調と言いつつ、フリースクールに通う神戸市の児童・生徒の家庭だけを県は補助対象外としたことで、本会議で神戸市の対応を求めました。



その結果、県が他の自治体に【補助として上限5千円】に対し神戸市は不登校児童・生徒の保護者を対象に利用料の半額として

【上限2万円の補助/(月)】を支援する(オンラインの場合は1.5万円)という画期的な“神戸市単独施策”として打ち出しました。この事は学校とフリースクールとの強い連携が出来ることで生徒を常に見守っていけるという非常に重要な施策であり、これは毎年継続されますので、児童・生徒への大きな経済支援に！兵庫県が神戸市だけ補助対象外としたフリースクール本会議質問から神戸市単独で大幅アップの経済支援実現に！

介護テクノロジー導入支援事業による産業化が動き出した！



長年にわたり神戸市に介護事業への取り組みを強く進めてきた結果令和3年度より、民間企業による介護テクノロジーや機器の開発支援、介護事業者への導入支援などが行われ、神戸市が補助事業によって支援した「介護現場と機器メーカーのコミュニティ構築による業務改善・生産性向上」事業で、総額1億円規模の介護テクノロジーが介護現場に導入される成果を上げており、産業化に向けて大きく前進してきました。さらに、「介護テクノロジー導入促進事業」に組み込まれているノーリフトケアも先日、看護師国家試験において初めて出題されるなどその重要性はますます高まっています。このように介護事業分野が動き出しましたが、今後は医療機関にも展開していくよう進めていますので、さらなる産業化へと期待出来ると思います！

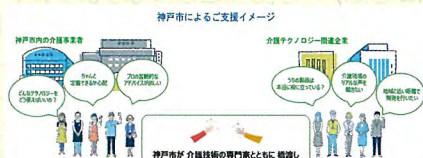
医療機関もテクノロジー導入支援が産業化としての市場拡大へ！

【平野 章三の本会議質問】 介護テクノロジーの潜在市場規模が1.5兆円とされる一方で、医療テクノロジーの市場規模は9兆円にのぼるとの試算もあり、医療分野には大きな発展余地があります。さらに、厚生労働省の令和7年度補正予算では、「医療・介護等支援パッケージ」の1つとして「医療分野における生産性向上に対する支援」事業が計上され、国としても医療分野に本格的に取り組む姿勢が示されました。【この支援事業は、業務効率化や職場環境改善に資するICT機器などの導入を進める医療機関に対して、事業費1億円を上限に8,000万円まで支援するもので、医療機関の負担は本来の1/5に軽減されるのであります】また厚生労働省は当初総額200億円で措置された予算を300億円に増額し、全国で375病院～1都道府あたり約10カ所の大病院を支援するプロジェクトを打ち出したのであります。そこで、経営がひっ迫し経営改善と職員の業務改善が喫緊の課題となっている中央市民病院に対して、本事業への採択を目指すよう働きかけてはいかがでしょうか。さらには市内事業者とのネットワークを持つ経済観光局とも連携し医療現場の業務改善に有益な技術やサービスを有する事業者とのマッチングを支援することで、他の病院のモデルともなる、より実効性の高い取り組みが展開できると考えますが、あわせて見解を伺います

【今西副市長の答弁】

令和6年度の中央市民病院の決算は大幅な赤字となっており、現在抜本的な経営改善に取り組んでいますが、更なる医療テクノロジーの導入により、一層の業務効率化や職場環境改善を進めることは大変重要と考えています。そのため、中央市民病院の経営改善および業務改善に向け、今回の厚生労働省の医療支援事業の活用を市民病院機構と協議をしていき医療現場に有益な技術やサービスを有する事業者とのマッチングを関連部局と連携しながら検討させていただきます

【平野 章三の意見】 この度、医療テクノロジーを活用して神戸市中央市民病院の経営改善と職員の業務改善等、喫緊の課題に取り組むことで、他の大手病院への波及効果が大きくなって、産業化への弾みとなることを期待しています！



長年、“音楽のまちこうべ”を神戸市に提案してきたことで文化スポーツ局が中心となり、各地で音楽イベントが開催されこうべの街中で新たなにぎわいが生まれてきています。その中で特に神戸市やJRと三宮再整備を進めてますが、三宮新駅ビル(完成時期2029年度)南側広場空間において、約250㎡のスペースにイベントステージが設置されることになりました。「こうべのまち」の結節点でもあります三宮駅前広場は恒常的な魅力ある多様な「にぎわい拠点」が生まれることとなります。そこで音楽のまちとして神戸の魅力を発信出来るようJRと連携して文化スポーツ局が中心的に運営出来るよう支援してまいります。

何故、教職員が床の油引き、エアコン清掃までしなければ？ 教職員の負担軽減を今まで放置してきたが画期的な提案で実現！

教員が授業に専念できる環境づくりのために、**令和8年9月**よりコベカツでの部活動の本格移行が進められ、教員が授業に取り組む時間確保に繋がることとなりますが、さらに教員が担う必要のない業務やまだまだ改善の余地が多々あることを内容として、予算確保に実現することが出来ました。それは**決算特別委員会審査**で、教員の本業とは言えない床の油引き、カーテンのクリーニング、エアコンの清掃等々、未だに教員が実施している現状を指摘し、教員がやらなくてもよい仕事をピックアップし、学校任せにせ

ず**教育委員会事務局**が責任を持って外部委託の予算を直接財政部に要望すべきと質問しました。そして、事前に財政部にも申し入れたことによって教育現場の実態を理解されたことで積極的な改善が実現したのであります。その【教職員の職場環境改善】としてプール清掃、油引き、エアコン清掃、カーテンのクリーニングの外部発注とともに、トイレ・更衣室の改修まで**《234,543千円》**の予算確保が実現しました！



こども家庭局が放課後学習の積極的な支援に乗り出し高い評価に！ 放課後学習支援拡大の提案が実現し、学校側から次々要望が増加

当初、**こども家庭局**は「こどもの居場所づくり」の事業を目的として、放課後学習支援を行なっていましたが、事業拡大への支援を要望してきた結果、昨年**局幹部職員の方々**が教育現場を視察され、民間の充実した学習内容に高い評価をされ、事業拡大を積極的に認められました。本来、**教育委員会**も放課後学習支援を行なっていたとのことでしたが、実態はほとんど機能しておりませんでした。一方で、小学校、学校長や教員の方々か

ら民間の放課後学習事業者に次々協力要請があり、**小学校161校(と1分校)**の中で、**現在約1割の15校**まで支援が広がっており、さらに**17校**そして中学校までが**2校**の問合せがあり増加しつつあります。本来、放課後学習は**教育委員会**の事業であるべきと思われますので、今後**こども家庭局**は教育委員会としての考え方について協議する必要が出てきており、課題解決に向け、両局に申し入れていきます！



神戸空港国際線の将来構想は！



【平野 章三の質問】 今年**1月18日**に関西3空港懇談会にて、関西エアポート株式会社の山谷社長は、神戸空港の国際定期便について、**2030年4月**の就航を目指す考えを表明され、さらに運営権・コンセッションに国際線エリアを含める提案をされました。ただ現行のコンセッションの運営権単価が固定対価中心で発着便数が拡大しても、その果実がほぼ還元されないという課題がある上、今後、第2ターミナル中心に機能拡張やアクセス強化などを受け入れ側の投資は待ったなしの状況であります。そこで国際線エリアをコンセッションを含め検討するならば、**将来の投資も踏まえた運営スキームを提示すべき**と考えますが如何か？

【市長の答弁】 国際線エリアについては空港の**適切な将来価値や投資負担のあり方などを検討する必要**があり、コンセッションの課題や優位性、メリットなどの分析を行い、関西や神戸の経済成長に資するよう提示していきたいと思います

【平野 章三の意見】 今までのコンセッションは空港の負債を考えると**42年間の契約期間も含め非常に厳しい状況**であります。そこで、単に利益を求めるということでなく、例えばプライベートジェットの受け入れ施設やMROなどの航空機産業の誘致、特に**2030年大阪IRの開業に連携・協力できる投資**など、その趣旨に関西エアポートに理解を求めて頂きたいと思います



神戸空港島の今後について

昨年、**決算市会本会議**にて市長は神戸空港島の**将来構想策定に取り組む方針**を打ち出され、さらに「1年以内に大きな方向性を出す」と答えられていますが、**港湾局**ではまだ将来方針の見通しがいいように見受けられました。ただ、この空港島の利活用については予てより本会議などで**MRO**をはじめとした航空機関連産業の誘致と国際プライベートジェットの受入を推進すべきと何度も提案してきました。そしてその結果、**令和8年度港湾局**予算の中に「神戸空港島の利活用の推進」として臨海部の高いポテンシャルを有する貴重な土

地として戦略的な利活用を図るため機を逃すことなく企業誘致に取り組むことを打ち出しました。そして、空港島の利活用イメージ図面の中に「成長産業の集積（航空機関連等）」と初めて明記されました。このことで航空機産業の誘致に動き出すこととなりますが、もしその方向で進んだ場合、非常にレベルの高い大手・中小の企業が集積することになり、大きな経済効果を生み出すこととなります。本会議提案を受けての**神戸市**の前向きな動きを期待しているところです！

